

# 少子高齢化対策調査特別委員会議事日程

日 時 平成 27 年 4 月 8 日 (水)  
16 : 00 ~ 17 : 00  
場 所 委員会室

## 第 1 委員会の運営について

(1) 共有すべき考え方 別紙資料

(2) 調査の進め方

### 前回の意見

- ・町の施策の確認後視察調査
- ・国・県の施策調査（HP公表資料など）
- ・健康政策の調査
- ・地方創生計画との連携

その他

## 人口減少、少子高齢化問題の考え方の事例

人口減少そのものはそれほど問題ない。(一人あたりの取り分が増える?)

しかし、生産年齢人口が減少すると経済活動が停滞

(総生産量が下がり一人あたりの取り分も減少?)

持続的社会的実現には人口構成の変化が問題なのは。

～少子高齢化が進むと困ること～

◇少子化

- ・ 子供用品などが売れなくなる。賑わいがなくなる
- ・ 学校などが要らなくなる。地区の核となる施設がなくなる。
- ・ 働き手がいなくなる。後継者がいないのでいつまでも働かざるを得ない。
- ・

◇高齢化

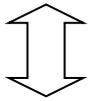
- ・ 医療費等社会保障費がかさむ。
- ・ 生産性が上がらない。地区の道路等施設の維持が困難
- ・

- ⇒
- ・ 子から孫へというような伝承が途絶える。社会の持続性がなくなる。
  - ・ 経済活動が停滞する。

経営とは

会社経営の目的は、持続的な顧客の創造

後継者の創造



産業の伝承と創造

- ⇒
- ㊦ 少子化の抑制、社会的流出の抑制  
移住 (U, I ターン) の促進
  - ㊧ 研修、教育

- ⇒
- 新たな仕事の創造 起業できる環境整備  
・ 既存産業の工夫 (6次産業化)
  - ・
  - いつまでも働きつづけられる環境整備  
・ 健康維持・増進  
・ 女性・高齢者が働く場

目指すもの



例えば

「3世代が元気に働き続けられる町」

「元気に」 心身の健康、家族や地域の絆

「働き続ける」 働く場の確保、時代にあった仕事の展開

第1世代

- ・健康寿命の延伸
- ・働く場の確保・創造
- ・

第2世代

- ・生活習慣病予防
- ・若者の地元への就業促進（Uターンなど）
- ・地元資源を利用した産業の振興
- ・移住・定住の促進
- ・未婚・晩婚化の抑制
- ・

第3世代

- ・適正な生活習慣
- ・郷土愛の醸成
- ・次世代育成の促進
- ・安心して産み育てられる環境整備
- ・

## 少子高齢化対策調査特別委員会

目的：少子高齢化に関する現状把握（基礎データの調査）

対象：総務課、町民課、健康福祉課、まち振興課

内容：

### 自然減に関する状況と見込み

人口減少の状況と見込み

少子化の状況と見込み

未婚・晩婚化の状況と見込み

高齢化の状況と見込み

### 社会減に関する状況と見込み

町外の転入・転出の状況

### 雇用の状況と見込み

事業所数と従業者数の状況（町、近隣町村）

## 統計データ等の例

人口の推移（男女別 町、近隣町村 10年間）及び推計

出生数の推移（町、近隣町村 10年間）及び推計

死亡数の推移（町、近隣町村 10年間）及び推計

合計特殊出生率の推移（10年間 県、全国比較）

年齢別人口の推移（5歳階級、国勢調査20年）及び推計

婚姻件数及び婚姻率の推移（10年間 県、全国比較）

平均初婚年齢の推移（男女別 10年間 県、全国比較）

未婚率の推移（国勢調査20年、県、全国比較）

高齢化率の推移及び推計（10年間 県、全国比較）

高齢世帯の推移及び推計（65歳、75歳以上別 国勢調査20年、県、全国比較）

高齢者世帯のうち単独世帯の推移及び推計

人口動態（転入、転出の事由及び移動前後の住所地）の推移

年齢別人口動態

事業所数と従業者数の推移（町村別、産業別 男女別 経営組織別）

産業別町民総生産の推移

新卒求人数の推移